

議会だより

# かみざおり

9月定例会号  
No.135



改選後初の一般質問

上郡町立研修センター「上郡ピュアランド山の里」条例改正

県知事へ「産業廃棄物最終処分場建設反対意見書」提出



円心くんとエイトちゃん

# 9月定例会

最高気温35℃の猛暑日の9月2日に始まった9月定例会は、19日までの18日間であった。議会改選後初めての定例会。全9名が一般質問に登壇し、山積する課題や梅田町長の2期目の方針に切り込んだ。決算審査、ピュアランド条例改正案、山本副町長選任同意案、「産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書」案等で活発な議論を尽くした。全て原案通り可決したが、議論の中で重要な答弁が引き出されている。また、会期末に総務文教常任委員会で委員長の交代があった。

会期末の頃、ようやく秋めいてきて「真夏日」や「熱帯夜」から解放された。

## 一般質問

9月2日

きむらきみお

木村公男 議員

- ★1. 上郡町の防災事業について

たちばなてるひろ

立花照弘 議員

- ★1. コウノトリ保護条例の制定について
- ★2. 選挙公約について

やながわたくひろ

柳川貴洋 議員

- ★1. シカ等の野生鳥獣による農作物被害の実態把握と対策強化について
- 2. こどもの医療費の無償化に向けた施策について
- ★3. 地域公共交通のこれからのあり方について

9月3日

たぶちちひろ

田淵千洋 議員

- ★1. 子育て支援策について
- ★2. 公共施設等のあり方について

さのひろかず

佐野廣一 議員

- ★1. 高齢者福祉の充実について

いのうえ

井上としひろ 議員

- ★1. 梨ヶ原・西有年産廃場建設阻止に向けた町長の具体的プランについて
- ★2. ツリ山問題の今後の行動と見通しについて

さわだまさはる

澤田正治 議員

- ★1. 産業廃棄物最終処分場計画の現状と阻止の道筋について
- ★2. 第6次総合計画・第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
- ★3. 被災時の対応策について

9月4日

いくち

井口まさのり 議員

- ★1. 上郡町立研修センター「上郡ピュアランド山の里」における管理運営について
- ★2. 人口減対策と地域活性化について

よねだひろき

米田浩樹 議員

- ★1. 産廃最終処分場建設阻止に向けた上郡町の取組について
- ★2. 中学校部活動の地域移行計画について
- ★3. ツリ山事件を繰り返さないための方策について
- 4. 猫の屋外飼育による近所トラブル解消について



一般質問は年に4回開催する定例会でのみ行います。次ページ以降の質問記事は議員自らが執筆しています。（★が記事にした質問）QRコードで質問時の動画がご覧になれます。

### 表紙写真

◀10月18日  
兵庫県高等学校駅伝競走大会西播地区予選会

## Q 上郡町防災事業の今後は

A 情報伝達システムや手段の  
多様化を図る



木村公男 議員

問 防災行政無線システム  
整備事業の詳細は。

町長 現在の音声告知放送システム機器の老朽化に伴い、より災害に強い情報伝達システムに変更する。防災アプリや戸別受信機を導入する等、情報伝達手段の多様化を図る。

問 防災無線システムとは

どのようなものか。

住民課長 災害時に、役場から各地に設置した屋外スピーカーを用いて避難情報等を一斉に知らせる無線通信システム。今回39か所の屋外スピーカーは、高性能スピーカーに変更する

問 戸別受信機の設置状況は。

住民課長 申請者の家屋57戸、指定避難所や公共施設63か所の合計120基を設置予定。今後も追加対応する。



▲完成した屋外スピーカー

問 開始はいつからになるのか。

住民課長 本格実施は令和8年4月から。現在運用されているケーブルテレビやひょうご防災ネット等と併せ、多様な伝達手段により災害に備えたい。

問 上郡町防災拠点整備計画は。

町長 B&G財団は、全国の自治体で財団支援金による防災拠点の整備を進めている。災害発生時の迅速な復興と地域防災力の向上を目指す事業で、今回財団から事業実施地に選定された。

問 拠点整備品や人材育成は。

住民課長 B&G財団として必須である防災倉庫を第3庁舎近くに、本年度中に建設予定。油圧ショベルやスライドダンプ等も配備する。人材育成については、令和7年度から3年間継続補助していただく予定だ。



## Q コウノトリの条例提案は 検討しているか

A 担当課と協議中だ



立花照弘 議員

問 今年2月に町長に提案したが、半年間、何の回答もなく無視状態であった。議会軽視と感じるが。

町長 議会軽視するつもりはなく、回答しなかったことは反省する。住民団体と意見交換をしながら慎重に検討している。

問 町長は、議員時代は行政の議会軽視を訴えていたが、町長になって更に議会軽視がひどくなったと感じるが。

町長 全議員に、議案について理解が深まるよう説明する。

問 コウノトリ保護条例制定の取組は。

町長 制定時期は言えないが、1年間コウノトリの生態を見守り、住民と協議しながら条例制定に取り組みたい。

問 今までに町が行ったコウノトリ保護対策は。

町長 関西電力との協議やコウノトリの郷公園の助言を受けており、上郡町で数多く繁殖し、住民と共生できるようしっかりと取り組みたい。



▲早くコウノトリ保護条例の制定を(写真提供:平山博一氏)

## 選挙公約について

問 「産廃計画は絶対に阻止、断固たる行動に出ます」とあるが、具体的な対応は。

町長 県に提出されている事前協議書の内容に重大な変更があった場合は、毅然とした対応をとる。

問 県に「反対、反対」と主張するのも良いが、大災害発生時には、県にゴミの処分を依頼することになるが矛盾しないか。

町長 自分の町だけ良ければという住民エゴではなく、施設ができたときは安心・安全を担保できるかということで「反対、阻止」を掲げている。



## Q 農作物に関する 野生鳥獣対策の方向性は

A 地域ぐるみで体制の強化を行っていく



柳川貴洋 議員

**問** 国や県の事業の活用以外に、町独自の施策は。

**農林振興課長** 大きく2点あり、鳥獣被害防止のためのメッシュ柵・電子柵等の資材費の補助と、担い手不足対策としての狩猟免許の新規取得、更新の費用補助である。

**問** 町として今後どのような対策を行っていくのか。

**町長** 地域団体・農業者・猟友会との連携や国や県の支援事業の活用を通じて、防除・駆除・補償までを含めた総合的な獣害対策を推進して、農作物被害の軽減を図っていききたい。また、AI等の最先端の技術を活用した捕獲機器についても今後十分検討していく。



▲有害獣駆除で捕らえた鹿

## 地域公共交通のこれからのあり方について

**問** 直近に実施したアンケート等も踏まえて、現状の地域公共交通の課題をどう捉えているか。

**地域振興課長** 運行本数が少ない、鉄道バス等の接続が悪い、バス停が遠い等、そもそも地域公共交通が利用しにくいということが大きな課題である。前回の見直しで広く浅くというところで運行路線等を増やしたが、利用しにくい状況になっている。今後地域公共交通計画の見直しと併せて、運行の見直しを予定している。

**問** ライドシェアや自動運転等の新たな地域公共交通の導入の可能性は。

**地域振興課長** 本町のようにタクシー事業者が2社あり、予約型乗合タクシーを運行する中で、利用者が少ない現状では、導入の必要性は低い。ただ、担い手不足でタクシー事業者やバス事業者の運行が難しいといった状況になれば、将来的な導入の可能性はある。



## Q こども医療費の 所得制限撤廃はいつ

A 来年度、何らかのアクションを



田淵千洋 議員

**問** これまで、こども医療費の所得制限撤廃を町民の声として、訴えたが受け入れられなかった。しかし、町長選で公約に掲げたので実施するのか。

**町長** 撤廃を目指すということだ。財政状況や国の動向、近隣自治体の状況を見極め、子ども支援策をどれから着手するのか段階的に充実を図るよう検討し、令和8年度に何らかのアクションは起こしたい。

**問** 学校体育館の空調整備を加速すべきと考えるが、計画の進捗状況は。

**教育推進課長** 有利な財源を研究しているところだが、補助対象期間が令和15年度までの空調設備整備臨時特例交付金の活用が妥当ではないかと考えている。

**教育長** 暑さで各学校園の教育活動が制限されている。今夏も教職員で児童生徒の安全確保や教育活動の充実に向け研究を重ねており、町の財政計画も勘案し検討する。

**町長** 財政計画や整備の比較検討を行い対応する。

## 公共施設等のあり方

**問** 上郡町公共施設等管理計画の進捗状況は。

**財政管理課長** 計画の目的は、長期的視点で施設の更新、統廃合及び長寿命化等を実施。財政負担を軽減平準化し、公共施設等の最適な配置を実現することである。取組推進のため個別施設計画を策定することで、国庫補助や有利な起債の活用が可能となる。計画目標値は、令和2年度を基準に公共建築物の延床面積を令和13年度までに11.7%を縮減目標として、施設の集約化、除却及び売却を行っている。

**町長** 将来的に施設のあり方を地元や利用者、有識者も交えて検討していくことは大事な方向性だ。



◀熱中症指数モニター  
(暑さ指数を計測し、  
屋外や屋内での熱中  
症予防に役立つ)



## Q 町の高齢者福祉の取組は

A 健康で豊かに暮らし続けられる町づくり



佐野廣一 議員

**問** 町の福祉宣言と具体的な高齢者福祉は。

**町長** 昭和41年7月22日に議会の議決を経て福祉都市宣言を実施。また上郡駅前にもニュメントを設置して高齢者及び住民が安心して暮らせる町づくりに努めている。

**問** 75歳以上の後期高齢者の増加対策は。

**国保介護支援課長** 町の高齢化率は全国平均を大きく上回っており、今後も要介護者や認知症高齢者の増加が考えられるため、運動機能の向上や介護予防日常サービス支援事業等の充実を図っていく。

**問** 町ぐるみ健診で胃部検診受診者の減少について、検診方法に問題があると考えられないか。

**健康福祉課長** 胃部レントゲンの受診者数が令和6年度246人で、前年比約12%減少している。原因としてバリウムの誤嚥や下剤服用のリスクが考えられる。かかりつけ医と相談してもらい、胃カメラでの対応等をお願いしている。

**問** 地域包括ケア、老人福祉・介護保険事業計画とは。

**国保介護支援課長** 高齢者が住み慣れた地域で医療、介護、介護予防、住まい及び生活支援サービスを一体的に受けられるよう町全体で支援する体制のこと。高齢者の多様なニーズに対応できるネットワーク作りで、地域住民が主体となって高齢者を支え合う仕組み作り計画のこと。

**問** 要支援、要介護認定者の状況について問う。

**国保介護支援課長** 最近のデータでは要支援者が269名、要介護者が763名であり、認定審査会を1回に30名位で、月2回程度開催し、毎年多少の増減がある。



▲上郡駅前福祉都市宣言  
モニュメント

## Q 産廃処分場阻止に向けた具体的プランは

A 自然環境を守る条例を考える



井上としひろ 議員

**問** 産廃反対の梅田町長が就任されて4年が経つ。

「町長はよく頑張っている」との声を聞く。しかし、産廃阻止に向けた実効性のある施策がいまだなされていない。町長がこの4年の産廃阻止に向けた行動を総括され、今後の4年間、町長の実効性のあるプランを問う。

**町長** 町長就任後の令和4年に住民投票を行い、その結果投票数の約80%の反対という民意を得、産廃建設反対の機運を高めた。住民投票の結果を踏まえ兵庫県に要望書を提出、事業者には中止撤回を求める要請書を手交した。また、私の提案で赤穂市、備前市及び上郡町で産廃計画を阻止する首長の会を立ち上げ、今後の対応等を検討している。今後、水道水源保護条例の制定には、梨ヶ原の産廃場が与井の水源地の地下水に影響を与えるのか科学的に証明する課題がある。当町には森林伐採、太陽光の問題等他にも様々な問題がある。水道水源保護条例にこだわらず、当町の環境を守る条例を模索する。



▲産廃最終処分場計画地の山林（10月3日）

## ツリ山問題の今後の行動と見通しは

**問** 町が負担したツリ山の産廃撤去費用を業者に求めた裁判が確定し、町は債務者等から回収しなければならない。債務者の家屋、車の差押え等あらゆる手段で臨まなければならないと思うがどうか。

**町長** ありとあらゆる手段を講じて、僅かなお金でも積み重ねて回収する。弁護士と相談し、まずは預金調査等を進め、財産が見つかれば差押え等対応していく。



## Q 論気下池での事業者の動きについて問う

### A 池でボーリング調査をしている



澤田正治 議員

**問** 池底のボーリング調査は何のためと推定されるか。

**農林振興課長** 国道2号線から論気下池横を通る道路の拡幅計画の協議を行った際、県より指示したと聞いている。

**問** 池の管理者、所有者は。また、形状変更の手続きは。

**農林振興課長** 池の管理者は梨ヶ原自治会、所有者は個人である。一般的に、町の発注により同様の調査を行う場合は、ため池の管理者や地元自治会に説明を行い、承諾を得て調査を進める。

**問** 拡幅を計画している道は、保安林内を通っているか。

**農林振興課長** 一部保安林内を通っている。

**問** 計画阻止の道筋について問う。

**町長** 県に提出された「事前協議書」の内容に重大な変更があり、町民に大きな影響を与えると町が判断した場合は、町としては毅然とした対応で臨みたい。



▲上流（南側）からの論気下池、池底ボーリングの状況

## 第6次総合計画策定

**問** 策定において、人口問題の状況はどうか。

**企画広報課長** 10年後、人口は1万人前後になる予想もある。高齢化と出生率の減少で人口減は避けられない。

**問** 消滅可能性自治体の発表の中に上郡町があるが、そうならないための独自策はあるか。

**企画広報課長** 子育てに優しい環境を整えること。魅力的な教育環境をつくること等で取り組んでいきたい。

## 災害時の対応策

**問** 被災時の避難所において、トイレは重要と思うが。

**住民課長** B & G財団の事業を活用して、簡易トイレや携帯トイレの配備・充実を図っていきたい。



## Q モリンガで地域活性化を目指すべき

### A トータルの支援を考えている



井口まさのり 議員

## 人口減対策と地域活性化について

**問** 人口減少への対応策は。

**町長** 若者の定住促進を通じた人口の安定化と社会増、そして出生率向上の実現を目指す。

**問** 人口増の目標数値を問う。

**町長** 10年後、2035年に1万1,000人を目標としたい。

**問** 地域活性化について、他市町にない施策とは何か。

**町長** 女性を惹きつける町として、魅力ある教育分野を充実させる。また町営の訪問看護ステーションの存続、オーガニックビレッジを核に有機特産品の高付加価値化、こども園での通年での有機米提供等に取り組む。

**問** 環境、健康にいいスーパーフード「モリンガ」で地域おこしを検討できないか。

**町長** 予算をつけるだけでなく、トータル的に支援できるようにしっかり研究する。



▲スーパーフード「モリンガ」を使ったカフェ・モリンガの里

## ピュアランド運営について

**問** 改修費総額10億円と公表されたピュアランドが改修にかかる財政計画すらない状況でリニューアルオープンされたが、改修にかかる総額と財政計画を問う。

**地域振興課長** 改修計画は中長期にわたり随時提案はしたが、今回は3年間のみである。10億円の改修費は、9年前の保全計画であり、今後、指定管理者、議会と協議を行い見直す。

**問** 1人1泊2万5,000円とあるが近隣の公共施設との比較はしたのか。

**地域振興課長** 1泊2万5,000円の上限は、近隣のホテルの状況を踏まえた設定である。



## Q 産廃処分場建設阻止に有効な条例制定を

### A 協力する



米田浩樹 議員

**問** 愛知県西尾市では住民意識の高揚と条例制定が大切だと聞いた。議会と協力して条例制定を。

**町長** 協力する。町独自の研究もしたい。

**問** 赤穂市福浦産廃計画に新たな動きがあり、その説明会で事業者は福島原発事故除染土の搬入を否定しな

かった。産廃建設反対首長連絡会議での対応は。

**町長** 2市1町で情報共有している。住民団体の方が大きな疑念を持たれていることを承知している。

## 中学校部活動の地域移行について

**問** 部活動の地域移行実証事業の状況は。

**教育推進課長** 休日の地域移行をソフトテニス部で、平日の地域連携を科学部でそれぞれ行っている。

**問** 今後、広げていくには社会人の協力が必要だ。平日の活動は夜になり、照明のある場所が必要になる。国策での部活動改革なので国が施設整備をすべき。施設整備の計画はあるのか。

**教育推進課長** 屋外競技の活動場所も検討課題の一つである。



▲部活動地域移行実証事業の様子

## ツリ山事件を二度と起こさないための対策

**問** 町職員の裁判証言と議会での報告が違うのはなぜか。

**町長** 何度か職員に聞き取りを行ったが「知らない」「よく分からない」であった。

**問** 裁判では事業者が産廃業者であると分かっていた証言があったのに、梅田町長には報告されていない。また、町長や副町長に引継ぎされなかった等、町職員の体質に問題があるのでは。検証されているのか。

**町長** どこに問題があるのかを考え、再発を防止する。



## 私はココを指摘しました

### 上郡町立研修センター「上郡ピュアランド山の里」の設置及び管理に関する条例の一部改正

#### 田淵千洋 議員

町立研修センターの削除については、用途に規制があったはずだが、用途変更ができたということか。用途変更が可能であれば、急遽の民間委託でのオープンという運営の方向も変わっていたと思う。委員から3年・5年の計画を示してほしいとの意見が出ているので、まずは示すべき。

### 産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書

#### 田淵千洋 議員

議員間において、意見書案をメールで送付しただけでは、十分に審議したとは言えない。

また、委員会の議論が町民に伝わっていない。提出することだけに注力するのではなく、町民に対し4年間ほったらかし状態の理解を深めるべきではないのか。

#### 井口まさのり 議員

**問** 県は国から裁量権を与えられていないため住民の意見は尊重できないのに対し、意見書では住民の意見を尊重すべきとある。県に対する意見書としては内容が薄い。

**民生建設委員長** 今後勉強していく。

**問** 私自身、この計画を阻止できないまでも、計画を大きく遅らせる内容の意見書案があった。この中身の無い意見書のままで県に提出するのか。また人の意見は聞かないのか。

**民生建設委員長** このまま出す。

## 補正予算案について

#### 米田浩樹 議員

#### ①電子計算機費

**問** 国の制度変更でのシステム改修なら国費ですべき。せめて他の改修との一括改修等で安くならないか。

**総務課長** 既存システムの改修で別の会社への発注は難しい。クラウド化されており町職員では改修できない。

#### ②山野里小学校手すり設置工事

**問** 合理的配慮で対象児童が校内を自由に動き回るための工事なので安心したが、そもそも中学校のようにエレベーターの設置はできないのか。

**教育推進課長** 現在、エレベーター設置計画はない。

(千円以下四捨五入のため、合計が一致しない場合があります)

会 計 名		歳 入	歳 出	
一 般 会 計		82億3,559万円	80億3,063万円	
特別会計内訳	国民健康保険事業	18億6,003万円	18億5,933万円	
	後期高齢者医療事業	3億5,433万円	3億4,587万円	
	介護保険事業	19億1,266万円	19億1,086万円	
	公営墓園事業	513万円	240万円	
	ケーブルテレビ管理運営事業	1億1,768万円	1億953万円	
企業会計	水道事業	収益的収支	4億9,745円	4億5,735万円
		資本的収支	2,845万円	2億4,985万円
	下水道事業	収益的収支	9億6,381万円	9億5,530万円
		資本的収支	7億7,940万円	10億9,389万円

## 付 託 審 査 報 告

令和6年度決算について、2つの常任委員会それぞれに所管する会計の決算審査を付託した。それぞれの担当課から諸事業についての説明を受け、不明点や疑問点の聞き取りを行った。

審査の結果、決算書に記載の計数、経理は正確に処理されていることを確認し、全て全会一致で「認定すべきもの」と決した。

委員会での意見や質疑は以下のとおり。

### 総務文教常任委員会 (9月5・9・10日)

#### 1. 一般会計

##### 【指摘事項及び意見】

- 指標である実質公債費比率、将来負担比率は目標指標を達成し、財政健全化の努力がうかがえる。
- 令和6年度の町税徴収率は98.8%（県平均98.3%）で、財源確保と税負担の公平性のため徴収率の向上にむけた担当課の努力を高く評価する。
- 広報かみごおり発行事業については、町公式LINE等を活用し、将来的にデータ配信の手法に移行することを検討願いたい。
- ふるさと納税については、令和6年度は大幅に減少している。国から示される基準の厳格化に対応しながら提供商品の拡充を図るとともに、企業版ふるさと納税制度にも積極的に取り組み、納税額増加につながるよう努力願いたい。

#### 2. ケーブルテレビ管理運営事業

##### 【指摘事項及び意見】

- ケーブルテレビ加入率は94.5%で対前年度0.1%増

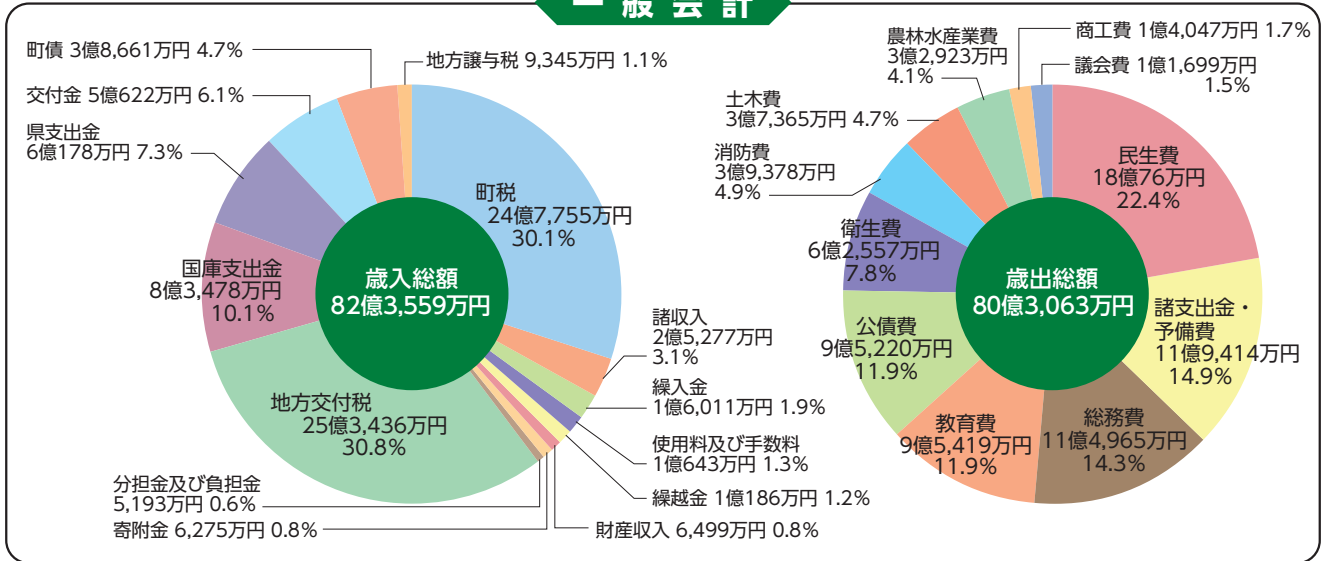
加した。通信サービス加入率は49.2%で対前年度1.0%の増加である。設備改修に係る財源確保のためにもケーブルテレビに加えインターネット未接続世帯へのPRが必要と考える。引き続き新規加入者数増に向けた努力を求める。



▲上郡町公式LINE

# 認定しました

## 一般会計



## 民生建設常任委員会 (9月5日)

### 1. 国民健康保険事業

**意見** 徴収率が高いこと、滞納分の回収努力を評価する。

### 2. 後期高齢者医療事業

**問** フレイル予防講座支援は。

**答** いきいき百歳体操は現在36団体あり、専門職の指導者が支援している。



▲いきいき百歳体操 船谷あじさいの会

### 3. 介護保険事業

**問** 積立金の大幅減の理由は。

**答** 歳出に対し上回った歳入を積み立てているが、そ

れがなかった状況である。

### 4. 水道事業会計

**問** 純利益が前年度比半分になった理由の説明を求める。

**答** 水を大量使用する企業の転出、人口減少、高田台での工事、水管橋の定期点検等の影響であり、今後は落ち着くと思われる。

### 5. 下水道事業会計

**問** 有収率が下がっている原因は。

**答** 下水管に流れ込む地下水等の不明水が増えている。流入箇所の見つけは難しい。

**意見** 下水管の点検計画を立てていただきたい。

### 6. 公営墓園事業

**意見** 墓じまい増加の一方、樹木葬が増えている。墓園の将来像を検討していただきたい。

## 決算審査報告

8月1日、4～6日、8日

【審査の結果及び意見】

大変厳しい町財政状況の中、財政構造の健全化に向け効率的な行財政運営に取り組んでおり、これらにより一般会計及び各特別会計（水道事業を含む）の起債残高は、令和6年度末で、対前年8億4,756万5,000円減の165億717万3,000円となっている。税の徴収に関しては、町税の徴収率は対前年度0.1%増加している。国民健康保険税の徴収率は0.1%減少したものの、人口減少や少子高齢化が進むなかでの徴収率向上に向けた努力がうかがえる。

将来負担比率については、町債の繰上償還等により106.0%と前年度の108.2%から改善し、また、実質公債費比率は13.9%とそれぞれ年々改善している。しかしながら、依然として高い水準であり、更なる改善に向け努力を求めたい。

引き続き、事業実施に当たっては将来を見据えて十分精査するとともに、各課職員が連携強化し町全体での財源確保と歳出削減に向けた努力を求めたい。

### 特記事項

- ふるさとづくり応援寄付金が前年度から8,745万9,000千円減少した。要因は種々あると思うが、減少額が多額であり、少しでも回復を図る方策を模索し、町外の方々に、当町を応援していただけるよう創意工夫が必要である。あわせて、企業版ふるさと応援寄付金による収入の増額についても検討されたい。
- 厳しい財政状況下であり、歳出の見直しは必要である。近年、同等金額で推移している各種団体の補助金は、費用対効果が低いもの、申請件数が少ないものなど、事業整備補助金等も含めて事業の見直しを検討すべきと考える。
- 歳出については、概ね予算額に沿って適法、適正な処理がなされている。流用は前年度から9件減少し、予備費の充当も適正に運用されており、職員の努力の結果であると判断する。

# 上郡町立研修センター「上郡ピュアランド山の里」の設置及び管理に関する条例（一部改正）

可決

## 改正のポイント

- 名称から「上郡町立研修センター」を削除し、観光振興、地域交流等を含む多目的な観光交流拠点とする。
- 指定管理者制度を前提とし、利用形態や料金体系の弾力的運用を可能に。
- 民間事業者の創意工夫を活かし、利用促進と収益確保を図り町費負担を縮減できるよう、具体的な手続きや料金設定を施行規則に委ねる形とする。

9月定例会で民生建設常任委員会に付託された。委員会での主な質疑は以下のとおり。

**問** 室料が2万5,000円となっているが、高すぎるのでは。

**答** 付加価値を高めた価格である。ウェルカムドリンクなどの各種サービス込みの価格での最高額だ。普段の通常サービスの価格はそれほど高くはしない。

**問** ネットではホテル料金は刻々と変わっているが、そのような運用なのか。

**答** そのとおり。繁忙期や休日前は高めにするなど、需要度に応じて細かく変えたい。

**問** 「町民割」の詳細は。

**答** 当面、現行どおりである。（3,500円～8,000円で年末年始は5割までの割増）

**問** ※Ⅰ～Ⅲ期改修の説明はあったが、全体計画は。

**答** まずは、以前の低い宿泊率を向上させないと投資は難しい。5室以上ないとネットの宿泊サイトに上げてもらえない（現状2室）。Ⅲ期までに魅力ある施設としたい。その上で9年前の保全計画に基づいた改修計画を見直す。

**意見** 3年、できれば5年の計画を示していただきたい。  
委員会として全会一致で条例改正案は可決すべきと決した。

本会議で主な質疑は以下のとおり。

**問** ピュアランドは市街化調整区域にあるが、規制解除は。

**答** 時期は未定だが、用途変更の手続き中である。

**問** 指定管理者と相談しながらの修繕なのか。

**答** これまでと違い、ホテル経営者が指定管理者となった。  
指定管理者の意見を聞きながら改修や修繕を行う。



▲2室が先行改装された客室

## ※当面の主な修繕・改修計画（指定管理者案）

### Ⅰ期工事（令和7年11月～）

- ①ユニットバスのある5階客室5室の改修。（6階大浴場の漏水によって傷んでいる天井修理と交換時期が過ぎている壁紙張替え等）
- ②2階研修室を町民ニーズが高い大宴会場に改装する。

### Ⅱ期工事（令和8年度）

- ①4階の客室7室の改修。
- ②エレベーターの改修。全館の照明をLED化。

### Ⅲ期工事（令和9年度）

- ①1階に露天風呂（6階浴場は廃止）
- ②エコキュート、太陽光パネル設置



# 上郡町副町長の選任につき同意を求める件

可決

9月19日、山本高士氏を副町長に選任する件が追加議案として提出され、賛成8、反対1で原案のとおり可決した。主な質疑、討論は以下のとおり。

**問** 9月定例会に最初の案件として上程されるはずが、追加議案となってしまったのはなぜか。

**答** 議員からの様々なお指摘や、町民から副町長の人事について様々なお意見をいただいた。熟考する期間が必要で、追加議案での提出となり大変申し訳なく思っている。

**問** 議会は、昨年9月定例会で辞職勧告を決議した。副町長について町長が熟慮されたのは、選挙が終わってからの話か。

**答** 様々なお意見も踏まえて、任期満了という節目に当たり、議会からの厳しい指摘、今後の町政、住民や議会との関係、さらに職員との関係等も含め再任させるべきかを副町長とも話し合い、最終的に自分自身で考え抜いたということだ。選挙が終わってからだけではない。

**問** 町民にとって大事な人事であり、副町長は町長が選任するわけだから、辞職勧告が議決された経緯を町民に説明し、それに対する対応をしていくことが町長、副町長の仕事ではないのか。

**答** ある意味そのとおりだ。しかし熟考する期間が必要であったことをご理解いただきたい。

**問** 辞職勧告を可決しているのに、再度副町長を受け入れる覚悟というのは、常識ではありえない覚悟を持っていることだと思う。次に副町長が同じ失敗をしたら「これで辞めます」と、それぐらいの覚悟を持っている選任なのか。副町長が同じ失敗をしたら、その責任はしっかりと町長が取らせる自信はあるのか。

**答** そのような大きな問題が発生すれば、当然、私としてもしかるべき対応を取る。

## 賛成討論

木村公男 議員

町長の今までの答弁で、町長が副町長に対して、かなりの信頼を今回は持っておられると考える。それを辞職勧告決議後、町長も様々な形でいろんな人も見てこられ、職員との信頼関係や、仕事面等もいろいろ判断をされ、熟考されての今回の判断であると思ひ賛成する。

澤田正治 議員

副町長の辞職勧告決議が決議されたら大きな報道になるはずだが、どの新聞でも報道されなかった。複数の新聞記者が来ていながら記事にしなかった。なぜか。この4年間の副町長の行動やいろんなことを見させていただいて、今後も頑張ってもらいたいと思ひ賛成する。

## 反対討論

田淵千洋 議員

現副町長の任期上、定例会当初の議案として上程すべきところ、追加議案としたことは、町長及び行政の怠慢であり、議会軽視である。また、議会が「副町長辞職勧告決議」を可決したにもかかわらず、何ら説明もなく継続したことは議会軽視であり、町民への説明不足であるため反対する。

## 議会活動報告

6月～8月

議会定例会・臨時会、議会運営委員会(2回)、総務文教常任委員会(1回)、民生建設常任委員会(1回)、広報特別委員会(5回)、全員協議会(3回)、月例出納検査(3回)、決算審査・財政健全化審査、新議員研修・事務説明会、議員懇談会、播磨高原広域事務組合議会定例会・新都市協議会・定期監査並びに令和6年度決算審査、にしはりま環境事務組合議会運営協議会・定例会、安室ダム水道用水供給企業団議会、兵庫県町議会議長会議長研究会・新議員研修会、兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会及び議長会臨時総会、兵庫県町監査委員協議会臨時総会・第1回研修会、東備西播定住自立圏形成推進協議会J R利用促進協議会総会、令和7年度智頭線利用促進協議会総会、宍粟市制20周年記念式典、安全・安心のまち住民大会、上郡町人権文化推進協議会定期総会、一般社団法人かみごおり観光協会定時総会、播磨高原東小学校運動会、川まつり神事・オープニングセレモニー・第2回全体会、反核平和の火リレー、上郡高等学校文化祭

# 県知事へ「産業廃棄物最終処分場建設 反対意見書」を提出

可決

## 民生建設常任委員会

民生建設常任委員会では県知事への意見書提出について、昨年5月から審議を進めていたが、「新議会になってから出すべき」との反対意見で先送りしていた。

採決の結果、賛成3、反対1で9月定例会に委員会発議することを決定した。

**問** 意見書を出したり、町長に動けと言うばかりではないか。委員会として動くべきではないのか。

**答** もっともだ。県や県民局への提出だけではなく、議会として事業者と直接会って断念を訴えに行くべきであり、建設に賛成されている町民の方にも直接お会いし、産廃建設に対する思いをお聞きしたい。これらの行動を委員会として行うために、意見書採択を通して今の議会の意思を固めたい。

**少数意見** 産廃建設は法に則って県が許可を出す。「意見書」の提出には意味がないので反対だ。

## 産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書

上郡町は“こどもと環境により優しくするまち”のスローガンのもと、清流・千種川と緑に囲まれた大自然の中でまちづくりに取り組んでいます。

その千種川の支流である梨ヶ原川上流で計画中の産業廃棄物最終処分場の建設計画について、上郡町は令和4年7月に設置についての賛否を問う住民投票を実施し、投票者の約8割が「反対」を示しました。

この結果を受け、梅田町長は兵庫県知事と事業者と、それぞれ要望書、要請書を提出されました。

上郡町議会では「産業廃棄物最終処分場建設反対宣言」を決議し、令和4年12月に兵庫県知事あてに「産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書」を提出しているところだ。

事業者からは「住民投票の結果は重く受け止める」とのコメントがありましたが、「計画の白紙撤回」をすることはなく、計画地周辺での調査を継続していることを確認しています。

許可権者である兵庫県におかれましては、この産業廃棄物最終処分場建設計画に反対する上郡町民の意思を真摯に受け止めていただくよう、改めて強く要望いたします。

令和7年9月19日  
兵庫県知事 齋藤元彦様

赤穂郡上郡町議会議長 河井正人

## 9月定例会

9月定例会では賛成6、反対3の賛成多数で可決した。主な質疑は以下のとおり。

**問** 議会全体に対して説明がなかったのはなぜか。議論は尽くしたのか。

**答** 今年の2月に案は固まったが、改選後に出すべきと本議会への上程に反対する委員があり、見送っていた。途中経過の案はその都度、全議員に知らせている。

**問** 効果的な意見書を出すべき。これは県に納得してもらえない内容ではないか。

**答** 当初は様々な内容があり、議会として一致できる内容でなかった。一致できる内容にするためこの案に落ち着いた。

## 反対討論

### 井口まさのり 議員

意味のない意見書ではなく、もっといい意見書案があるので反対する。

### 田淵千洋 議員

意見書の提出に反対しているわけではないが、十分な議論や検討を重ねずに提出することは、かえって町議会の信頼を損ない、町民に説明ができない。私たち議員は活動家ではない。提出すること自体が目的化するあまり、本来の議会活動からかけ離れることを危惧する。よって反対する。



▲10月10日 意見書を県環境部長に手交  
(10月15日に西播磨県民局長にも提出)

# 令和7年第6回議会(第520回 定例会) 会期: 令和7年9月2日~9月19日

全会一致可決の案件 (※印は各常任委員会に付託された案件)		備考	議決日
1	上郡町教育委員会委員の選任につき同意を求める件	同意第4号	9/4
2	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	議案第44号	9/4
3	上郡町立研修センター「上郡ピュアランド山の里」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件※	議案第45号	9/19
4	上郡町督促手数料条例を廃止する条例制定の件	議案第46号	9/4
5	上郡町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件	議案第47号	9/4
6	上郡町公共下水道条例の一部を改正する条例制定の件	議案第48号	9/4
7	令和7年度上郡町特別会計国民健康保険事業補正予算の件	議案第50号	9/19
8	令和7年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業補正予算の件	議案第51号	9/19
9	令和7年度上郡町特別会計介護保険事業補正予算の件	議案第52号	9/19
10	令和7年度上郡町水道事業会計補正予算の件	議案第53号	9/19
11	令和7年度上郡町下水道事業会計補正予算の件	議案第54号	9/19
12	令和7年度上郡町特別会計公営墓園事業補正予算の件	議案第55号	9/19
13	第6次総合計画特別委員会の設置及び委員の選任について	発議第3号	9/19

賛否の分かれた案件		備考	議決結果	議決日	柳川 貴洋	井上としひろ	米田 浩樹	河井 正人	佐野 廣一	澤田 正治	木村 公男	立花 照弘	田淵 千洋	井口まさのり
1	令和7年度上郡町一般会計補正予算の件	議案第49号	可決	9/19	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○
2	上郡町副町長の選任につき同意を求める件	同意第5号	可決	9/19	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○
3	産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書について	発議第4号	可決	9/19	○	○	○	-	○	○	○	×	×	×

「○」は賛成、「×」は反対及び「欠」は表決に参加しなかったことを示す。「-」は、議長のため表決に参加しなかったことを示す。

## 報告・承認等簡易表決による可決 (※印は各常任委員会に付託された案件)

- |  |  |
|--|--|
| 健全化判断比率及び資金不足の報告件<br>令和6年度上郡町一般会計決算認定の件※<br>令和6年度上郡町特別会計国民健康保険事業決算認定の件※<br>令和6年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業決算認定の件※<br>令和6年度上郡町特別会計介護保険事業決算認定の件※ | 令和6年度上郡町水道事業会計決算認定の件※<br>令和6年度上郡町下水道事業会計決算認定の件※<br>令和6年度上郡町特別会計公営墓園事業決算認定の件※<br>令和6年度上郡町特別会計ケーブルテレビ管理運営事業決算認定の件※<br>兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の件 |
|--|--|

## 令和7年度主な予算の補正 (9月定例会) (千円以下は四捨五入)

会計名	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	6,351万円	89億2,841万円	(歳入) ○普通交付税減 ○町税、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、人生いきいき住宅助成事業補助金、住宅用太陽光発電設備等導入補助金、多面的機能支払交付金、前年度繰越金、建物等損害保険金、デジタル基盤改革支援補助金、B&G財団支援金増 (歳出) ○職員給与費等、特別会計介護保険事業繰入金減 ○就労選択支援創設に伴うシステム改修、不動産番号付設登録簿照合業務、国県支出金返還金、人生いきいき住宅助成事業補助金、住宅用太陽光発電設備等導入補助金、多面的機能支払交付金、ピュアランド改修工事、防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業、山野里小学校手すり修繕、小・中学校賄材料費、財政調整基金積立金増
特別会計			
国民健康保険事業	1,858万円	18億5,518万円	職員給与費、システム改修委託料増
後期高齢者医療事業	963万円	3億6,454万円	職員給与費減、後期高齢者医療広域連合納付金増
介護保険事業	663万円	19億4,944万円	職員給与費、過年度分国県支出金精算に伴う返還金等増
公営墓園事業	273万円	601万円	前年度繰越金
下水道事業	1,102万円	18億9,104万円	職員給与費、上郡浄化センター汚水ポンプ故障による工事請負費等増

注) 補正額100万円以上の会計を記載

### 反対討論

田淵千洋 議員

補正予算は緊急性や即効性が求められるものであるはずだが、研修センター管理運営費については効果や成果の検証について十分な説明がされておらず、効果が曖昧なまま巨額の支出を認めることはできない。今一度、精査すべきと考え反対する。

## 総務文教常任委員会（8月18日）

### 継続審査 学校給食について

#### 令和8年度からの学校給食費値上げを検討中【教育推進課】

主食費（米価格）は令和4年度に比して今年度は1.76倍、牛乳は1.24倍に上昇するなど、食材価格の高騰により現状の給食費で事業を維持していくことが困難である。

#### 有機米の提供計画【農林振興課】

今年度、小・中学校給食で2～3学期に各5日、計10日間のスポット提供を計画。来年度も、各学期5日間の計15日間の提供を予定している。



▲中学校給食の様子

今後の有機給食提供の方向性は。

こども園は有機米を通年提供するが、小中学校はスポットでの提供を行う。有機米生産者が増えないと通年提供はできない。

#### 意見

給食費を上げざるを得ない状況は十分理解できる。町として魅力ある給食をこれからのような形で提供していくべきか、検討する必要がある。

### <その他報告案件>

#### ① 旧山野里幼稚園と山野里小学校プールの解体工事【教育推進課】

工事着手（7月5日）以降、現地踏査・起工測量等の実施、敷地内高低差の再検証に続き、プール解体を行っている。

#### ② 中学校部活動の地域移行【教育推進課】

ソフトテニス部を対象に実施。新チーム移行後の令和7年8月10日から令和8年3月末を実証期間に定め、土日のどちらかと休日を地域クラブ（上郡ジュニアソフトテニスクラブ）として、小学生と合同で練習を行う。

#### ③ 山陽道野磨駅家跡後期駅家跡史跡公有化事業【生涯学習課】

10月末ごろに補償物件調査を終え、地権者交渉に臨み、翌年2月ごろに用地買上げを行う予定。

#### ④ 土井公民館の屋根修理【生涯学習課】

太陽光パネルを一時撤去し、屋根全体を鋼板で覆うカバー工法で修理する方向。9月定例会に設計費の補正予算を上程する。

土井公民館に関しては丁寧に対応する必要があると判断し、継続審査として取り扱うことを決定した。

### 継続審査 土井公民館について（8月25日）

#### 参考人招致（陳情代表者）

5年前から雨漏りが始まっており、徐々に広がっている。要望しており、1月に足場が組まれたが、修理されぬまま撤去された。

#### 屋根修理費の上程を見送る【生涯学習課】

9月定例会での補正予算案を変更する。

9月19日の委員会で正副委員長が交代しました  
旧 委員長 井口まさのり 副委員長 柳川貴洋  
新 委員長 柳川貴洋 副委員長 木村公男

町の施設であり地元の公民館でもあるが、現状の使用頻度はどのようになっているか。

かつては盆踊りやキャンプなどで使用頻度は高かったが、今は月一回の自治会役員会程度。

#### 意見

耐震性確保も考えると、予算的にも屋根だけ直して済む問題ではなく、今後も隣保館として続けるのか、一般の公民館とするのかについても様々な案を示しながら行政と地元で深く議論する必要がある。

### 継続審査

#### 1. 産業廃棄物最終処分場建設計画の阻止

【住民課】 県への聞き取りでは「事業者と協議を行っているが報告できる段階ではない」とのこと。

【農林振興課】 8月に論気下池で管理道側の岸部分と池底のボーリング調査を確認。森林整備計画は未提出。計画策定のため、県の指導でのボーリング調査とのこと。

#### 2. 有機農業の推進

【農林振興課】 こども園3園と小中学校の給食に有機米を提供。赤松歴史まつり（「白旗城まつり」と「圭介まつり」を継承した）と神戸のオーガニックの集いに出店予定。有機農業推進協議会広報部会が有機農業を広めるイベントをこども園で開催する計画。



▲川まつりでの有機農業PRブース

#### 3. ピュアランド山の里の運営

【地域振興課】 レストラン、厨房を中心に設備等を修繕し、6月に先行オープンした。レストランの利用実績は、6月943人、7月772人。8月から1階でビヤガーデン開始。宿泊を入れないと黒字化は難しい。

指定管理者からは3段階の改修計画の提案があるが、財源の検討が必要な為、指定管理者と協議していく。また、都市計画法に係る用途変更の手続きを進めている。

**町長** 管理道が目的外使用（産廃処分場への搬入路）とならないよう県に要望済。赤穂市長と連携を密にしている。

**意見** 管理道敷設の動きをキャッチして、町長がすぐに動かされたことは評価する。管理道路を4mに拡幅する計画阻止の方策を研究して欲しい。

農協との連携は。

毎月定例会で意見交換している。

大阪のイベントで知り、有機農業をしたくて移住してきた方がいる。移住希望者や就農希望者向けのツアー等の計画はないのか。

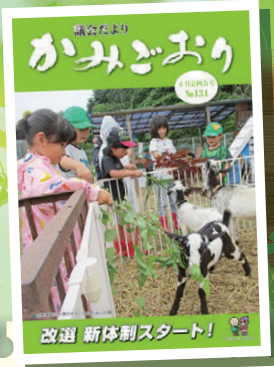
ツアーはないが就農相談会は実施している。

**意見** 今の農業者に慣行農法から有機農法に転換してもらうことは大事だが、上郡町での有機農業と空き家バンクを組み合わせアピールしてもらいたい。

全体像は。宿泊稼働率を上げるプランは。

今のニーズに合う規模で、採算性を向上する再開を目指している。必要以上の投資をしないで運営。岡山空港・関西空港からの誘客を視野に入れており、外国人従業員を雇用している。

※ピュアランドについては10ページ参照



# モニターの見解

## 6月定例会号をみて (No.134)

兵庫県立上郡高等学校

「議会だよりNo.134」は、表紙に子どもたちがヤギとふれあう様子や、上郡町の自然豊かな風景が写っており、町の温かさや穏やかな雰囲気が伝わってくる写真でした。写真を見ただけで何をしている場面なのかがすぐに分かり、親しみやすさを感じました。ただ、どのようなイベントの一部なのか、もう少し詳しい説明が添えられていると、町で行われている活動への関心がより高まるのではないかと思います。

内容については、町議会で話し合われていることの背景や前提が分かりづらく、少し難しく感じました。私たち高校生のように、町の行政や議会の動きに詳しくない者にとっては、なぜその議題が重要なのか、どのような課題があるのかといった分かりやすい説明があると、理解が深まりやすくなると思います。例えば、上郡町のキャラクターが登場して、議会で話し合われている内容をわかりやすく紹介するコーナーがあれば、次号も読んでみたいという気持ちにつながるのではないのでしょうか。

また、町民の皆さんから寄せられた疑問や質問に、町議会の方々が答えるようなコーナーがあると、町のことをより身近に感じられるようになると思います。高校生としても、そうしたやり取りを通じて町の課題や取組に関心を持つきっかけになると感じました。

今後、より多くの世代が親しみを持って読める誌面となることを期待しています。



体育大会 (写真部生徒撮影)

募集

## 「議会だより かがみごおり」の表紙写真

上郡町議会では、町民の皆様にも議会広報紙がより身近なものとなるよう、議会だよりの表紙写真を募集します。下記の応募要項を確認の上、応募申込書に記入し提出をお願いいたします。

- ① 上郡町内で撮影したもので、自作かつ未発表のもの。  
(合成写真、組写真、画像修正したものは除く。撮影は縦が望ましい)
- ② 作品は、800万画素以上のファインダーモードで撮影したもの。  
(目安：デジタル画像3.6MBから10MBまで)



▲募集要項・申請書

## 編集後記

前号で「広報委員長として最後の・・・」と書きましたが、引き続き広報委員長をさせていただきます。より分かりやすい「議会だより」にすること、上郡町ホームページの「上郡町議会」ページ充実が目標です。

ご感想や「こんな情報を載せてほしい」等のご意見をお待ちしています。

米田 浩樹

次の定例会は12月2日 10時から開会予定

本会議は自宅のケーブルテレビ(えんしんネット)でもご覧になれます。



# かがみごおり議会だより No.135

令和7年11月10日発行

発行／兵庫県上郡町議会  
編集／議会広報特別委員会

〒678-1292 兵庫県赤穂郡上郡町大持278番地  
☎(0791)52-3512 FAX(0791)52-6650  
メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kamigori.lg.jp

議会事務局  
メールアドレス

